

第2次長久手市地域公共交通網形成計画に係る目標・評価指標について

将来像	目標	評価指標	現況値	目標値【目標年次：2023年度】	目標値について
みんながつながり 笑顔があふれる公共交通	市内公共交通の利用者数の増加	・市内各公共交通の利用者数	・リニモ：4,138,781人/年 (市内6駅の乗車客数) ・名鉄バス：794,000人/年 (市内バス停利用者数) ・Nーバス：261,821人/年 ※H29実績	リニモ：4,390,000人/年 (市内6駅の乗車客数) 名鉄バス：794,000人/年 (市内バス停利用者数) Nーバス：271,000人/年	・リニモ：経営改善計画における平成30年度から平成35年度の伸び率(約6%)を平成29年度実績にあてはめ算定した。 ・名鉄バス：愛知学院大学の学部移転の影響等を踏まえ現状維持を目標値とする。 ・Nーバス：ダイヤ改正等による影響を鑑み、平成35年度までに約3.5%増加することを目標値として算定した。
基本方針	目標	評価指標	現況値	目標値【目標年次：2023年度】	目標値について
基本方針1： 各公共交通の連携	市内公共交通の利便性の向上	・各公共交通の利用している人の割合の増加	・リニモ：54.0% ・名鉄バス：34.5% ・Nーバス：22.9% ※H29市民アンケート調査	リニモ：57%以上 名鉄バス：37%以上 Nーバス：25%以上	平成25年度から平成29年度の取組みで、利用割合が増加しているため、今後の取組みでもこの増加傾向の維持を目指すものとして目標値を設定した。 ※Nーバスについては変化が見られなかったため、4人に1人が利用することを目標値として設定した。 (平成25年度アンケート ・リニモ：51.2% ・名鉄バス：32.2% ・Nーバス：22.9%)
基本方針2： まちの変化への対応と 持続性の確保	効率的な公共交通の確保	・隣接市コミュニティバスと接続していることの効果の向上	・54.1% (「役に立った」「やや役に立った」の回答割合の合計) ※H29市民アンケート調査	60%以上	平成25年度に比べ平成29年度は減少していることから、平成25年度水準以上を目標値として設定した。(平成25年度アンケート：58%)
		・Nーバスの1便当たり利用者数の向上	・Nーバス：9.8人/便 ※平成29年実績	Nーバス：11.4人/便	平成35年度までに1便あたり1.6人増加することを目標値として設定した。 ※Nーバス各路線ごとの評価指標については、本計画期間内に検討及び作成する。
基本方針3： 多様な移動ニーズへの対応	公共交通に対する満足度の向上	・公共交通を便利にする取り組みの満足度の向上(満足割合の増加)	・19.7% (「満足」「ほぼ満足」の回答割合の合計) ※H29市民アンケート調査	25%以上	5人に1人から、4人に1人が公共交通に対して「満足」「ほぼ満足」と回答することを目標値として設定した。
基本方針4： 利用促進による維持・活性化	公共交通に対する市民意識の向上	・公共交通利用を考える意識の増加	・22.1% (「3公共交通利用を第一に考える」回答割合の合計) ※H29市民アンケート調査	25%以上	5人に1人から、4人に1人が「公共交通利用を第一に考える」と回答することを目標値として設定した。
		・各公共交通を利用しない理由で「バスがどのように走っているかわからない」という回答割合の減少(市民アンケート)	・名鉄バス：24.5% ・Nーバス：28.1% ※H29市民アンケート調査	名鉄バス：20%未満 Nーバス：20%未満	バスを利用しない人の内、名鉄バスについては4人に1人、Nーバスは3.5人に1人が「どのように走っているかわからない」と回答しているため、5人に1人まで下げることが目標値として設定した。